

平成27年度 学校評価 【生徒】 アンケートより

学校評価検討委員会

1 評価・考察のポイント

＜各項目についての肯定的評価、否定的評価＞

- a. よくあてはまる b. ややあてはまる . . . を肯定的評価
c. あまりあてはまらない d. まったくあてはまらない . . . を否定的評価
- 【1】前年比較 10ポイント以上の低下 ▼
【2】前回比較 10ポイント以上の向上 △
【3】低評価項目 60%以下の否定的評価 . . . ●
【4】高評価項目 80%以上の肯定的評価 . . . ○

2 評価についての特徴的な点

【1】前年比較10ポイント以上の低下 ▼

該当する項目はなく、18項目の中で3ポイント以上の低下が4項目

＜主なところ（3ポイント以上の低下）＞

- (1) 「6. 部活動や生徒会活動に積極的に取り組む人が多い」
<H27>86.4←<H26>90.0←<H25>87.7←<H24>86.6
- (2) 「7. 学校行事は充実している」
<H27>83.5←<H26>88.5←<H25>93.0←<H24>91.9
- (3) 「10. 私は快適な学習環境とするため、整理整頓や清掃等の美化運動に努めている」
<H27>79.8←<H26>84.9←<H25>84.2←<H24>80.0
- (4) 「33. 家庭で学校に関する話をしている」
<H27>75.3←<H26>78.3←<H25>72.1←<H24>69.8

課題・検討事項

学校行事は充実しているについて昨年度比5.0ポイント低下。一昨年度比9.5ポイント低下。行事を増やしてほしいという生徒の意見があるほか、クラスマッチの種目についての不満、模擬店の出店が3年生に限られていることなどについて改善を求める気持ちが数値に現れたようである。整理整頓や清掃等の美化運動に努めているについて昨年度比5.1ポイント低下。個人として、自分自身の取り組みに厳しい評価をしている生徒が増えたためと思われる。部活動や生徒会活動については、昨年度比3.6ポイント低下。しかし、高ポイント項目であり、多くの生徒は肯定的に捉えており、過去4年間を見ると平年並みと言える。家庭で学校に関する話をしているについては、昨年度比3.0ポイント低下。一昨年度から昨年度にかけて6.2ポイント上昇した項目であったが、一昨年度と昨年度の中間点の数値となった。

【2】前回比較10ポイント以上の向上 △

該当する項目はなく、18項目の中で6項目が上昇している

＜主なところ（3ポイント以上の上昇）＞

- (1) 「43. 私は、読書に励み、視野を広めようとしている」
<H27>45.6←<H26>42.0←<H25>43.3←<H24>42.7

評価向上・継続事項

読書に励み、視野を広めようとしているについては、昨年度比3.6ポイントの上昇で、過去4年間で最も高い数値となった。学習センター発行の「新着案内」第8号で4月から11月までの貸出統計を見ると、3年生は1年生・2年生に比べ、それぞれ400冊前後多く貸し出さ

れていることがわかる。3年生の小論文の取り組みにおいて、関連する書籍を読む生徒が多くなったため、学習センターの貸し出し冊数も増え、アンケートの数値にも表れたのではないかと推測できる。

【3】低評価項目 60%以下の否定的評価・・・●

- (1) ● No.41 私は学習してわからないことがあるとよく質問に行く

<H27>31.1←<H26>32.8←<H25>28.9←<H24>32.0

- (2) ● No.43 私は読書に励み視野を広めようとしている

<H27>45.6←<H26>42.0←<H25>43.3←<H24>42.7

課題・検討事項

低評価の2項目は全く昨年度、一昨年度と同様の項目である。よく質問に行くについて、昨年度比1.7ポイントの低下。過去4年間ほぼ横ばいの数値である。定期テストの直前に質問に来る生徒が見られるが、普段から質問に来るよう、先生方が働きかけることも必要である。

読書については、先に記した通りであるが、学習センターの「新着案内」や図書委員会発行「図書だより」の有効利用と、折に触れて、先生方が読書の楽しさを伝えることが大切である。

【4】高評価項目 80%以上の肯定的評価・・・○

- (1) ○ 1.校訓の理解について

<H27>81.6←<H26>80.3←<H25>81.3←<H24>80.9

- (2) ○ 2.学習内容は自分の希望に適したものになっているか

<H27>88.0←<H26>88.7←<H25>88.3←<H24>86.9

- (3) ○ 3.生活規律指導は適切か

<H27>88.7←<H26>89.5←<H25>86.9←<H24>87.3

- (4) ○ 4.進路目標達成への情報が十分そろっているか

<H27>88.3←<H26>89.4←<H25>89.3←<H24>84.8

- (5) ○ 5.進路目標達成への指導が効果的か

<H27>87.2←<H26>89.6←<H25>89.6←<H24>86.6

- (6) ○ 6.部活動・生徒会活動への取組みは活発か

<H27>86.4←<H26>90.0←<H25>87.7←<H24>86.6

- (7) ○ 7.学校行事(修学旅行・クラスマッチ・体育祭・麗明祭等)は充実しているか

<H27>83.5←<H26>88.6←<H25>93.0←<H24>91.9

- (8) ○ 8.先生は悩みや相談に親身に応じてくれるか

<H27>83.4←<H26>82.3←<H25>80.4←<H24>80.1

- (9) ○ 9.健康・安全面についての学習機会があるか

<H27>94.2←<H26>92.8←<H25>92.5←<H24>88.5

- (10) ○11.快適な学習環境の整備に力を入れているか

<H27>83.5←<H26>85.1←<H25>80.9←<H24>76.8

- (11) ○31.本校へ通うことは自分の将来にとって意義があるか

<H27>91.2←<H26>91.1←<H25>88.8←<H24>87.8

- (12) ○32.学科・コース・科目選択に満足しているか

<H27>90.7←<H26>90.2←<H25>87.5←<H24>86.9

評価向上・継続事項

高評価は12項目であるが、昨年度比1項目減となった。整理整頓や清掃等の美化運動に努めているの項目がわずか0.2ポイント足りず高評価項目から外れた。学校行事は充実しているの項目が昨年度比5.0ポイント低下、部活動や生徒会活動に積極的に取り組む人が多いの項目が昨年

度比 3.6 ポイント低下については、先に述べたとおりである。他の項目はほぼ横ばいである。このことから、昨年同様、生徒は学校生活に意義を見出し、充実した日々を送っていると言えることができる。

【5】直接記述意見

(1) 学習・進路についての記述

- ・学校全体で進路に対する考えが少ない。もっと真剣になってほしい。
- ・文理選択後の選択授業が少なすぎる。社会科目に関しては理系は選択さえできない。文系に進むと理系科目が選べない。

(2) 行事等についての記述

- ・麗明祭で教室で店ができるようにしてほしい。2年生も食べ物を扱えるようにしてほしい。
- ・学校行事、校外学習が少なすぎる。合唱コンクールをやりたい。一年生のかかし作りは実質は係りの人だけが作っているし、クラスの仲が深まると思わない。合唱の方がクラスの仲が深まる。校外学習も地域ボランティアなど学年やクラス単位で行いたい。
- ・麗明祭の模擬店が少なく、実際、模擬店を出店できなくて見ているだけだったので、あまり楽しくなかった。
- ・3年間クラスマッチに出ることができなかった。体育祭は縄跳びと綱引きのみ参加。このように出たくても出れない人がいるので、イベントを増やしてほしい。
- ・麗明祭ののど自慢の採点基準を明確にすべき。(歌唱力と表現力など)

(3) 部活についての記述

- ・ハンドボールの外のコート近くに明かりがほしい。少し暗くなると、ボールが見えなくなる。

(4) その他の記述

- ・屋上に上げられるようにしてほしい。
- ・夏の室温が学習環境に適していないので、何かしらの整備をしてほしい。
- ・夏はクーラーがほしい。
- ・アルバイトについて厳しい。なぜ無断でする人がいるのか考えてほしい。学校側が対策を考え、許可してほしい。
- ・どこの階段もかなり汚い。
- ・就職活動をしていて、進路の手引きを見て改めて校訓を理解することができた。校訓を説明できない人も多いと感じたので、教室に校訓が印刷された画用紙を掲示したり、校訓について(意味を学ぶ)時間を設ければいいと思った。

3 考 察

17項目のうち11項目で低下が見られた。低下した項目は多いが、微減(-0.1~-1.0)が3項目、3ポイント以上の低下は前述のように4項目、残りの4項目のうち1ポイント台の低下が3項目、2ポイント台の低下が1項目となっている。3ポイント以上低下の項目以外で、特に注意したいのは、「進路目標に向けて効果的な指導」が-2.3ポイント、「進路目標達成に伝える情報が十分」が-1.0ポイントとなっていることである。いずれも高評価項目ではあるが、生徒の進路希望を実現するために更なる方策について考える必要がある。

今年度、新たに設けた「いじめ防止の指導」の項目について、73.2%がポジティブな回答をしているが、1/4の生徒はネガティブな回答をしている。日頃から先生方が情報を共有し適切に対応してきているが、きめ細かな指導を地道に継続していくことが肝要である。

「本校に通うことの意義」(91.2%)「学科・コース・科目選択に満足」(90.7%)の2項目は高評価となっており、概ね生徒は学校生活を肯定的に捉えていることがわかる。今後とも、一人ひとりの生徒を大切に寄り添いながら丁寧な指導を展開することが望まれる。